

令和3年度第2回三郷市上水道運営委員会会議録

開催日時 令和3年7月2日（金） 10時00分～11時40分

開催場所 三郷市水道部別棟会議室

出席委員 (10名)

前田雅久委員	山室敏治委員	黒川怜委員
米たか子委員	吉川淳委員	恩田誠一委員
水野美喜子委員	谷口末子委員	浅賀和雄委員
小島正文委員		

事務局出席者

水道部長	藤丸讓司
水道部副部長	関根謙一
水道部副部長兼施設課長	大森貴則
業務課長	秋田陽一
施設課長補佐兼給水係長	平野崇
施設課主幹兼工務係長	小宮剛
施設課施設係長	宮城真司
業務課総務係長	白石幸弘
業務課料金係長	馬場弘至
業務課総務係主事	中村友哉

委員会次第

1. 開会

2. 議題

①第3次三郷市水道事業基本計画改定版（素案）について（諮問）

②令和2年度三郷市上水道事業特別会計決算（案）について

3. その他

4. 閉会

1. 開会

- ・前田委員長 会議に先立ちまして、本日の議事録署名人を山室委員と吉川委員の2名にお願いしたいと思います。

2. 議題

1) 第3次三郷市水道事業基本計画改定版（素案）について（諮問）

- ・前田委員長 それでは本日の会議に入ります。本日は、まず、先ほど諮問いただきました、第3次三郷市水道事業基本計画改定版（素案）について、皆様に審議していただきます。それでは、事務局の説明を求めます。

- ・総務係長 《 資料に基づき説明 》

- ・前田委員長 事務局の説明が終わりました。何か質問や意見等はございますか。

- ・吉川委員 2点質問があります。

1点目は、三郷市の水道料金は県内で3番目位に安いと聞いていますが、その要因は何なのでしょう。

2点目は、資料1「第3次三郷市水道事業基本計画（改定版）（素案）」の105ページには、今後の財源確保策として、「令和6年度に20%、令和10年度に20%の料金改定」もしくは「令和6年度に30%の料金改定」が挙げられていますが、どちらかを今後実行していくということなのでしょう。

- ・総務係長 1点目の質問について回答いたします。三郷市は平坦な地形であり、人口密度も比較的高いことから、水道水を作るのにかかる費用が安くなるため、他企業体と比較して水道料金も安くなっております。

2点目の質問について続けて回答いたします。資料1には、あくまで料金改定をした場合こうなるという試算を載せているにすぎないため、実際に料金改定をするには、今後更なる検討が必要と考えております。

- ・前田委員長 他にございますか。

- ・恩田委員 中央浄水場の廃止についてですが、北部浄水場と北部第二配水場で市全体の9割近くの配水を賄っているかと思いますが、北部の浄配水場だけでも大

丈夫ということなののでしょうか。配水量が多い時間帯等もあるかと思いますが、対応は可能なのでしょうか。

・施設係長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。一日の中で、配水量が多い時間帯と少ない時間帯があり、少ない時間帯は夜間で、市全体で一時間あたり 300 m³程度の配水量となっております。逆に、多い時間帯としては、午前 6 時から午前 11 時、また、午後 5 時から午後 9 時頃であり、市全体で一時間あたり、3,700 m³程度の配水量となっております。このような配水量が多い時間帯においては、北部の浄配水場で 9 割、残りの 1 割を中央浄水場で配水するという運用をしているところですが、市全体への配水を北部の浄配水場で行ったとしても、配水ポンプに余剰能力があるため、対応は可能と考えております。

・恩田委員 では、中央浄水場の配水量が 0 になっても将来も含めて大丈夫、という考えでよろしいのでしょうか。

・施設係長 計算上は、中央浄水場を廃止したとしても、将来の水需要にも対応できるようになっております。

・前田委員長 中央浄水場についてですが、地下水の取水時における水位の変化は大きいのでしょうか。

・施設係長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。地下水の水位の変化についてですが、地下水を取水していないときは、地表面から、約 10m から 20m の範囲の水位になっております。中央浄水場の井戸のうち、揚水能力が低下している井戸もあり、取水時には、取水量にもよりますが、水位の変化が大きいところで、約 40m まで水位が下がる井戸もございます。なお、実際の運用としましては、予定している配水量もあることから、取水が止まってしまふと大変支障がありますので、そういったことがないように留意して取水しているところであります。

・前田委員長 他にございますか。

・山室委員 前回の会議において、小・中学校の受水槽に災害時用給水栓を設置している話をしましたが、早速、資料 1 の 67 ページに載せていただき、ありがとうございます。三郷市の全ての小・中学校に、年内に設置が完了するようで

す。災害時の対応関連ですが、今月の埼玉県の広報紙で、「雨水タンクで雨水の有効活用始めませんか」という記事がありました。雨水を各家庭で溜めておけば、災害発生時に生活用水として使用できるので、水道と少し違うかもしれませんが、今のちょうど梅雨の時期にPRするのもいいのではないのでしょうか。

・業務課長 ただ今頂いたご意見につきましては、担当する部署に情報提供させていただきます。

・前田委員長 それでは、他にございますか。
ないようですので、これまでに出た意見や質問等については、事務局の方で取りまとめていただきたいと思います。
続きまして、議題②「令和2年度三郷市上水道事業特別会計決算（案）」について、事務局の説明を求めます。

・業務課長 《 資料に基づき説明 》

・前田委員長 事務局の説明が終わりました。何か質問や意見等はございますか。

・黒川委員 資料5「令和2年度三郷市上水道事業特別会計決算の概要(前年度比較)」における給水人口について、質問します。令和2年度は、給水人口が前年度から72人増加したのに対し、給水戸数は480戸増加していますが、この点について説明をお願いします。

・業務課長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。給水人口につきましては、人口の増加によるものですが、給水戸数につきましては、契約件数になりますので、単身者が増えたことや、事業所が増えたこと等により、契約件数が増えたことが影響しているものと考えています。

・前田委員長 他にございますか。

・小島副委員長 資料5における有収率について、質問します。令和2年度は、有収率が前年度から2.0ポイント増加し95.9%になっていますが、過去5年間の有収率を見ると、93%から94%程度で推移しています。有収率が上がったこと自体は良いことではありますが、全国的な平均値と、類似企業体の平均値はどれくらいなのでしょう。また、2.0ポイント増加した原因は何でしょうか。

・施設係長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。有収率の全国的な平均値で

すが、令和元年度の数値になりますが、89.92%になっております。また、類似企業体の平均値ですが、93.48%になっております。

有収率が2.0ポイント上がった理由につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、一般家庭用の水量が約20万 m^3 増え、総配水量が増加したことで有収水量も増加したことと、毎年度行っている配水管の漏水対策の効果が出たことが原因だと考えております。

- ・小島副委員長 有収率が上がったことは非常に良いことですので、引き続きこの水準を保てるように取り組んでいただきたいと思います。
- ・前田委員長 他にございますか。
- ・恩田委員 埼玉県からの県水については、料金体系はどのようなになっているのでしょうか。
- ・施設係長 県水については、埼玉県企業局と事前に年間の受水計画で水量を調整しております。料金体系としては、基本料金がなく、1 m^3 あたり61.78円に消費税を加えた額が受水費になりますが、受水計画で定めた水量を超えるような受水はできないこととなっております。
- ・前田委員長 他にございますか。
- ・米委員 給水戸数については、一般家庭用と業務用でどのような比率になっているのでしょうか。
- ・料金係長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。資料3「令和2年度三郷市上水道事業特別会計決算書（案）」の33ページにございますとおり、一般家庭用が71,213戸、官公署用が161戸、学校用が86戸、工場用が12戸、病院用が9戸、浴場・営業用が6戸、臨時用が108戸、公立プール用が30戸となっております。
- ・業務課長 一般家庭用の戸数の中には、個人商店や小規模な事業所等、通常、工場用として契約しないものも含まれておりますので、補足させていただきます。
- ・前田委員長 他にございますか。
- ・黒川委員 資料4「令和2年度三郷市上水道特別会計決算のポイント」における主な事業内容について2点質問します。1点目は、早稲田地区の老朽管の布設替えの進捗状況はどうなっているのでしょうか。2点目は、令和2年度末時点の管路の耐震化率が、前年度に比べ1.2ポイント増の40.2%になったということですが、耐震化率の目標値はいくつなののでしょうか。

・施設課主幹兼工務係長

1点目の質問について、回答いたします。早稲田地区における布設替えの対象延長は、約54kmであり、布設替えが完了している延長が約9.5km、残延長が約44kmでございます。過去6年間の平均で、1年間あたり約1.6km布設替えが進んでおりますので、残りの延長の布設替えに約28年間かかる計算でおります。しかしながら、早稲田地区の配管は少し特殊で、道路の両側に配管がある形状になっているため、布設替えを行う際には、例えば、100m分布設すると、200m分除却できるような形になっております。そのため、除却も含めると、半分程度の期間で完了できるものと考えております。また、早稲田地区の布設替えについては、今後力を入れて取り組んでいく方針でおります。

2点目の質問について、続けて回答いたします。管路の耐震化率は毎年2ポイント程度の増加を見込んでおり、令和12年度において60%を目標にしております。

・前田委員長

他にございますか。

ないようですので、令和2年度三郷市上水道事業特別会計決算（案）につきまして、承認することについて異議ございませんか。

《 異議なしの声あり 》

・前田委員長

異議なしとのことですので、令和2年度三郷市上水道事業特別会計決算（案）につきまして、承認することといたします。

4. その他

・前田委員長

その他のことで、何か質問等はございますか。

・水野委員

資料3の103ページから105ページにおいて、料金改定を行った場合の試算がありますが、「何%」上がる、という表現よりは、具体的に「何円」という表現にしたほうが分かりやすいと思います。

・総務係長

使用水量によって料金が変わるため、一概には言えませんが、基本料金だけで考えますと、10㎡あたり税抜きで700円になりますので、30%の料金改定の場合は、210円に消費税分を加えた額だけ上がるということになります。

・前田委員長

他にございますか。

ないようですので、これをもちまして議事等を終了させていただきます。委員の皆様にはご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返ししま

す。

5. 閉会

署名委員

山崎 新治

署名委員

吉川 淳